

平成27年度東京都への予算要望について

①水道緊急工事（漏水修理）請負単価契約に関する要望

水道緊急工事（漏水修理）請負単価契約は緊急性を求められる特殊な契約であり、当契約の重要性、必要性を十分に理解致しております。

当組合では平成24年4月20日に貴局と「災害時における水道施設等の応急処置の協力に関する協定」を締結しており、協力団体としての責任を履行すべく毎年実施している防災訓練をはじめ、技術者の雇用確保、資機材、労務宿舎、資材置き場の確保、又、技術力の継承や向上にも努めております。

貴局では、新たに平成26年4月に策定された「東京水道施設整備マスタープラン」には安定給水、震災対策等の詳細な数値目標も明記されました。

緊急時における貴局のご要望は勿論の事、貴局が策定される事業目的や数値目標の早期達成を誠実に履行し、都民に対する給水を可能な限り確保する事が当組合の使命と考えております。

当組合では、緊急時における対応能力向上を責務とし、断水被害の抑制や早期に平常給水可能と成るよう応急対策諸活動を迅速、的確に実施できる体制を早期に確立されるよう水道緊急工事（漏水修理）請負工事単価契約におきましては、貴局の事業目標に拠る契約業者数の確保、並びに事業数値が早期達成と成るよう避難所や主要な駅等、約2,500か所の給水管耐震化を早期に発注されるよう強く要望致します。

《回答》

震災時に多くの人が集まる避難所や主要な駅への給水を確保するためには、身近な給水管の耐震化は極めて重要と認識しております。

そのため、避難所などへの供給ルートの耐震化に先行して、避難所については平成28年度までに、主要な駅については平成31年度までに配水管の分岐部分から水道メータまでの給水管の耐震化が完了するよう計画的に実施しております。

②給水管整備及び取り出し工事請負単価契約に関する要望

当組合では、貴局が新たに平成26年4月に策定された「東京水道施設整備マスタープラン」における早期の耐震継手化を旨に大規模災害時においても断水しない水道の構築に微力ながら是非ともその一翼を担いたいと考えております。

給水管の耐震強化、並びに漏水の未然防止、耐震性能の早期確保、断水率の軽減と早期復旧が可能と成りますよう私道内における塩化ビニル製の給水管の材質改善工事や私道内給水管整備事業をさらに推進されるよう要望致します。私道内給水管整備事業におきましては

整備対象の要件緩和等により事業対象が拡大して参りましたが、組合員各社は毎年、1年間計画的に発注されている施工量を完工致しましてもまだ、施工余力を充分に残しております事から年間予定延長をさらに増加するよう強く要望致します。

又、円滑に私道内給水管整備事業を推進するために、広くお客様に事業概要や事業効果に関して理解を得る様なPR等の広報が成されるよう要望致します。

《回答》

平成24年度より、私道内給水管整備工事の施工要件を緩和するとともに、私道内における塩化ビニル製の給水管のステンレス化を事業化することで、事業全体の対象延長を拡大し、計画的に実施しております。

また、事業PRについては、これまでもホームページ等により広報しておりますが、更なる当該事業への理解を得るためには、現場での説明が必要なことから、今年度より新たにイメージアップに特化した施工単価を設定しましたので、活用をお願いいたします。

なお、事業の円滑な推進のため、区役所が実施している私道整備工事に合わせて施工できるように区役所の担当部署と連携しております。

③メータ引換及び位置変更止水栓設置工事請負単価契約^{※1}に関する要望

会員各社は毎年、1年間計画的に発注されている1社当たりの施工量を完工致しましてもまだ施工余力を残しております。

メータ引換及び位置変更止水栓設置工事請負単価契約におきましては年間の発注量の増加につながる施策を強く要望致します。又、有効期限切れメータの解消になる発注を要望致します。

《回答》

本契約は、有効期限を迎えた水道メータを対象とし、その引換を主な趣旨としていることを御理解願います。

また、工事を施工する上で、お客さまの同意が必ず必要となることから、有効期限切れメータの解消に向け、これまで以上にお客さまへの協力要請等を行ってまいります。

なお、平成26年度より、有効期限切れメータ解消工事完了後の積算について、より受注者の負担軽減を図るため、新たな単価設定を行っております。

※1 予算要望は平成26年9月に行った為、工種名を平成26年度のまましております。